

**地方公共団体、地域金融機関及び地域の産業界による
地域経済活性化に向けた考えや動きなど**

**平成27年6月10日
福岡財務支局**

(お問い合わせ先)

福岡財務支局 理財部 金融調整官

TEL 092-411-7281

1. 福岡市 ～FDCとグローバル創業・雇用創出特区～

FDCが目指す将来像

「東アジアのビジネスハブ」を目指し、福岡都市圏の強みを武器にした実行可能な地域戦略！

アジアの大都市群の中心に位置する福岡

5プロジェクト

- ①観光(MICE)
- ②スマートシティ(環境)
- ③食
- ④都市再生(街づくり)
- ⑤人材

数値目標

- ◆域内総生産(GRP) +2.8兆円 (年平均成長率+2.5%)
- ◆雇用 +6万人 (年平均成長率+0.5%)
- ◆人口 +7万人 (年平均成長率+0.3%)

MICEとは？

- M**eeting (企業ミーティング)
 - I**ncentive (企業報奨・表彰・研修目的の旅行)
 - C**onvention (国際会議・学会)
 - E**vent・**E**xhibition (文化・展示会・見本市)
- 多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称



福岡地域戦略推進協議会 FDC (Fukuoka Directive Council)

2011年4月に福岡都市圏の成長戦略の策定から推進までを一貫して行う産学官民が一体となった「Think & Do Tank」として発足。

- 特長**
- 「官」と「民」が連携して戦略を立案し、実行「Do」する団体
 - 「官」の「縦割り」の制約と「民」の政策決定過程への関与の弱さを克服
 - 実際に事業を推進する意思のある人物・団体が、5つのプロジェクトに参画
- 構成員**
- 九州経済連合会会長を会長、大学ネットワークふくおか・福岡都市圏広域行政推進協議会会長を副会長とした民間企業・大学・行政機関等、計94団体(2015年3月1日現在)
 - 事務局は、地域活性化に精通した専門家等により運営

福岡市(グローバル創業・雇用創出特区)

- ◆国家戦略特区をFDCと共同提案
- ◆「グローバル創業都市・福岡」ビジョンをFDCと共同作成

特区の区域方針

- 創業等の支援による開業率の向上
- MICEの誘致等を通じたイノベーションの推進・新たなビジネス等の創出

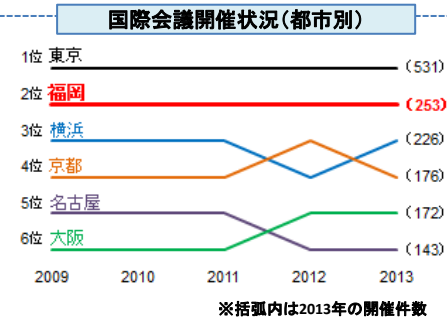
MICE誘致活動の強化(福岡市と連携)

福岡は東京に次ぐ、国際会議の開催実績。効率的な営業や開催者へのワンストップ支援など、誘致活動を強化。

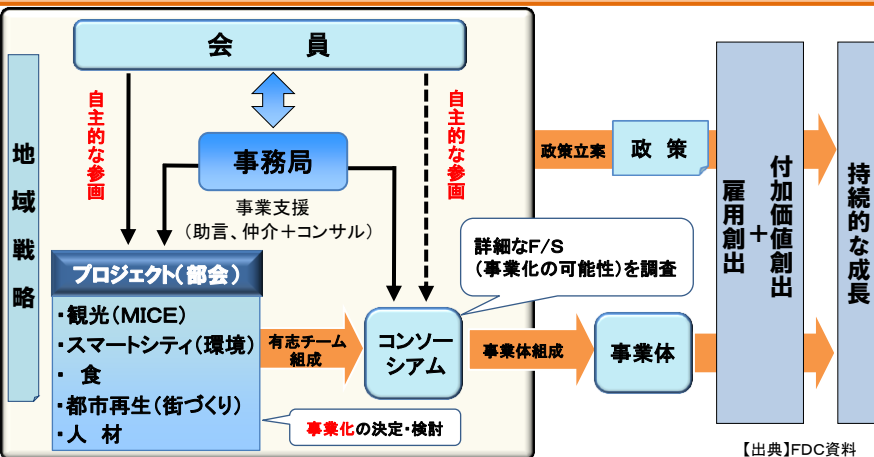
◆Meeting Place Fukuokaの設立 (2014年4月)

MICEの誘致受入・企画を行う国内初の官民連携ワンストップ組織。

◆2016年に過去最大規模(3.5万人)の「ライオンズクラブ国際大会」を開催予定。



事業化までの基本的な流れ(プロジェクト、コンソーシアム、事業体の三段階)



金融機関との関わり

- ◆金融機関は、プロジェクトに参加し、情報収集。事業化が始動した際、ファンドやファイナンス等で支援予定。

事業化の取組み

- ◆各プロジェクトで約35の事業化を検討中。
- ◆うち3事業を今年度実施予定。

創業支援拠点

～開業率倍増へ～ ※全国平均4.6%
6.2% ⇒ 13% (2012⇒2018年度)

創業の交流拠点(ワンストップ化)

◆スタートアップカフェ開設

- ・創業者が気軽に集まり交流できる場を開設(2014年10月)
- ・常駐するコンシェルジュが相談対応、情報提供やマッチングを実施。

相談・起業実績等

- ・開設以来、相談は半年間で533件うち起業した会社は10件超。



- ・金融機関等は、創業セミナー・融資相談を通じて積極的に支援。

カフェ内に雇用労働センターを併設

労働関係紛争の未然防止を目的に弁護士等が、雇用ルールの相談対応等を無料で実施(全国初)。

2. 長崎市 ～長崎サミットの取り組み～

長崎サミット

将来像(重点4分野)

- ◎**基幹製造業**
基幹産業(造船業等)の生産規模の維持・確保、地元企業受注率の引き上げ
- ◎**観光**
観光客数の増加及び宿泊日数の長期化、消費単価の引き上げ
- ◎**水産**
水産練り物製品のブランド化による売上げの増加
- ◎**大学**
学生数の増加による経済効果の拡大

【成果】

- ・客船連続建造態勢への支援
- ・新幹線西九州ルート(諫早・長崎間)の認可・着工(2012.6)
- ・産業革命遺産及び教会群の世界遺産登録推進活動
- ・夜景観光の推進(2012.10～)
- ・長崎留学生支援センターの設置(2013.2)

2011.8～2014.7
経済基盤を作り上げる第2ステージ

2014.8～2020.7
成果を示す第3ステージ

数
値
目
標

目 標

- ◆1人あたりGDP
目標：331万円(2020年度)
(トレンド比+17万円)
- ◆産出額
目標：359百億円(2020年度)
(トレンド比+10百億円)
- ◆就業者数
目標：302千人(2020年度)
(トレンド比+15.5千人)

現 状

- ◆1人あたりGDP
現状：335万円(2012年度)
(トレンド比+13万円)
- ◆産出額
現状：375百億円(2012年度)
(トレンド比+1百億円)
- ◆就業者数
現状：299千人(2010年度)
(トレンド比▲1千人)

最
近
の
主
な
活
動

経済が停滞している中、とりわけ長崎市の人口が減少。これに伴い、
将来危機的な経済状況に陥る懸念を産学官金が一体となって認識を共有。

「長崎都市経営戦略プロジェクト(長崎サミット)」(2010年7月発足)

県内の主要7団体(長崎県、長崎市、長崎商工会議所、長崎経済同友会※1、長崎県経営者協会※2、長崎青年会議所、長崎大学)による横断的な経済活性化に向けたプロジェクトを開始。(事務局は、十八銀行及び同行の経済研究所)

※1 代表幹事は十八銀行会長 ※2 会長は三菱重工業長崎造船所長

海洋産業クラスター

- 五島列島での海洋再生可能エネルギー実証フィールドの選定を受け、活動を活発化。
 - 事業モデル構築調査事業で2億円を予算措置(内閣官房事業)。
 - 今後、実証実験の結果を踏まえ、地元企業が事業化することを目指す。
【浮体式洋上風力発電】
 - 海外(スコットランド)の関係機関や企業との情報交換を実施。
 - 2020年までにプラントを建設し、同年後半までに売電を開始。
【潮流発電】
 - 2021年までに計画を策定し、2023年までに売電を開始。
- 水素製造実験
 - 五島列島で洋上風力発電による余剰電気をを用いて水素を製造する実証実験を開始(環境省事業)。
 - 将来的には、五島列島の洋上風力発電による余剰電気で恒常的に水から水素を製造し、貯蔵・運搬のうえ利用することを目指す。

観光都市

- 世界遺産登録
政府がユネスコへの推薦を決定 ⇒ 2015年から16年での登録に期待。
【明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域】
2014年 端島炭鉱(軍艦島)・旧グラバー住宅ほか
【長崎の教会群とキリスト教関連遺産】
2015年 大浦天主堂ほか
- 世界新三大夜景に認定
2012年 長崎市・モナコ・香港が世界新三大夜景に認定。

- 国内高級ホテル・外資系ホテルを誘致
- 留学生を活用した、外国語コンシェルジュを増員
⇒ 国内・海外観光客の増加(交流人口の拡大)

3. 武雄市・唐津市

武雄市図書館(佐賀県武雄市)

～ 市民の生活をより豊かにする図書館を目指した官民連携 ～

2013年4月、市は「TSUTAYA」を運営する企業に、運営を委託。図書館をより「市民価値」の高い施設とすべく、民間ノウハウによる利用者の利便性向上と行政コストの削減を図る。

- 公立図書館初の年中無休で、朝9時～夜9時まで開館
- 館内に蔦屋書店とスターバックスコーヒーが併設
- 講座や各種イベントの開催(朝ヨガ、手芸等)

リニューアルによる経済効果は、20億円超(初年度/市試算)

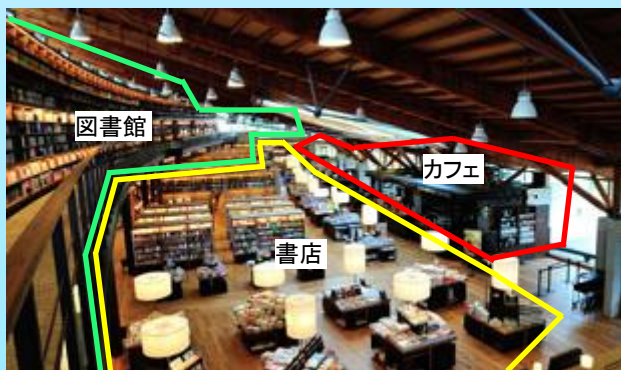
(参考) ■武雄市図書館の利用状況

	2011年度	2013年度	2011年度対比
来館者数	25.5万人	→ 92.3万人	約3.6倍
貸出利用者数	8.2万人	→ 16.7万人	約2倍
図書貸出数	34.0万冊	→ 54.5万冊	約1.6倍

《貸出利用者割合》(2014年3月31日時点)

市内居住者56.4% 市外居住者32.0% 県外居住者11.6%

【出典】カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株) ニュースリリース

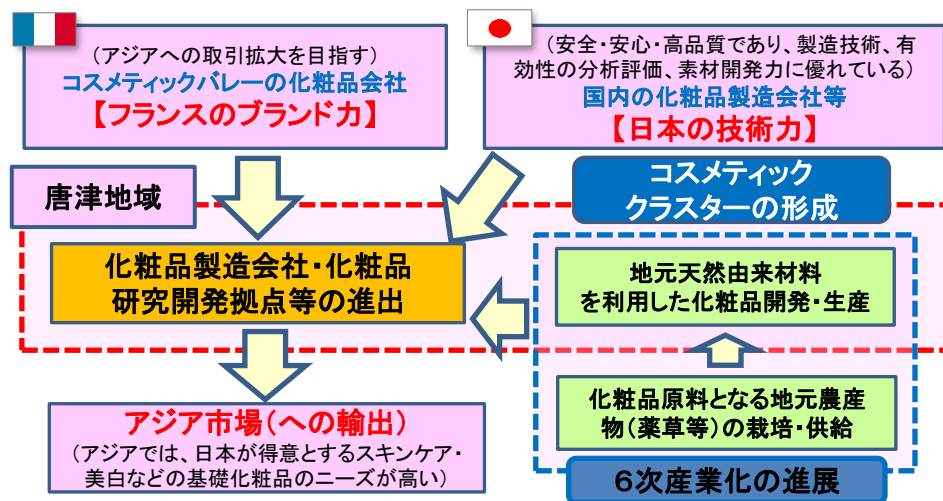


書店・カフェを併設した館内

唐津コスメティック構想(佐賀県唐津市)

～ フランスの化粧品ブランド力と日本の技術力のコラボレーション ～

- フランス・パリ郊外の化粧品産業集積地域(コスメティックバレー)を参考に同様のものを佐賀県唐津地域に形成する構想。
- 両国のコラボレーションにより、成長著しいアジア市場を開拓。これにより、唐津地域のコスメティック産業の集積と6次産業化の進展に貢献することを期待。



唐津特産化粧品プロジェクト(地産素材を活かした6次化ビジネスモデルの創出)

第1弾

【目的】唐津特産の化粧品開発により、唐津の情報発信と交流人口の増加に寄与

【商品】加唐島(かからしま)に自生するヤブツバキ100%のツバキ油を活用したシャンプー等

【構成】唐津観光協会、(株)ブルーム(唐津本社:商品企画・管理)、

(株)トレミー(東京本社・唐津工場:製造)

【スケジュール】

27年夏以降 発売開始(予定)

商品は国内及び海外向けの2種類を予定。

うち海外向けは伊万里・有田等の陶磁器製容器入りを想定。



ヤブツバキ(原材料)


4. 北九州市・波佐見町 ～民間主導の取り組み～

リノベーションまちづくり(北九州市)

～ リノベーションまちづくりにより活性化した「魚町商店街」～

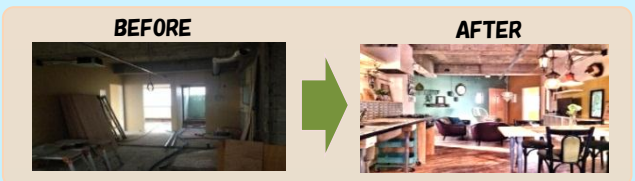
商店街の空きビルなどを改築(リノベーション)したうえで、希望者にレンタルし、まちを活性化。

- (株)北九州家守舎の主導の下、商店街の空きビルなどの活用策について検討し、オーナーに提案。
- 北九州銀行はその検討にあたり、金融面からアドバイス。
- リノベーションに必要な資金は自治体の補助金に頼ることなく、空きビルなどのオーナーの自己資金や金融機関からの借入で対応。



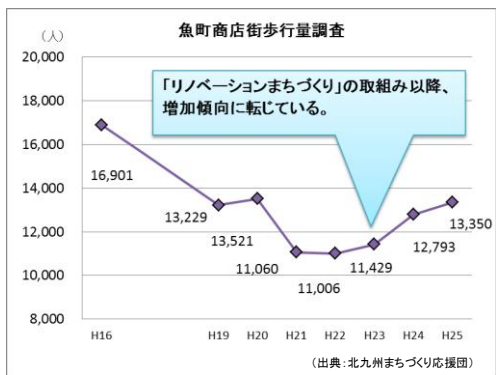
北九州家守舎
KITAKYUSHU YAMORISHA

北九州市出身の建築家が中心となり設立した、まちづくりに関するコンサルティング会社。
当社が中心となり、北九州市各所の空きビルなどのリノベーションを主導。
(これまで15件を事業化)



【成果事例】商店街の活性化(小倉魚町「ビッコロ三番街」ほか)

- アーケードと商店街を結ぶ古いビルをリノベーション。裏路地(ビッコロ)のような商業空間として活用。
- 低価格で3タイプの売り場ブースをレンタルできるなど、手軽に出店が可能のため、常時満室の状態。
- 新しく多様な店舗が集うことで、利用客が増加し、まちが活性化。



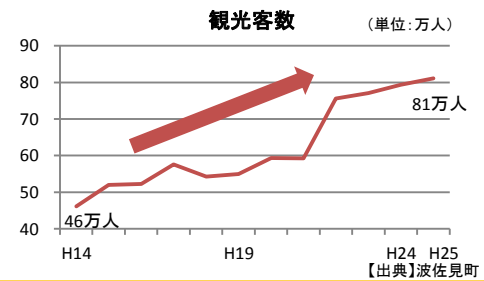
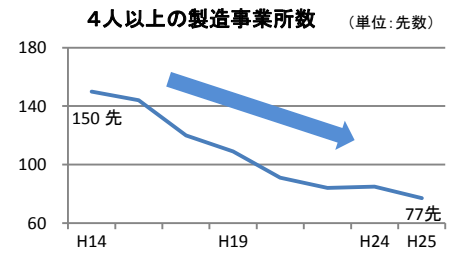
波佐見焼(長崎県東彼杵郡波佐見町)

～ 伝統と新しさを調和させた「波佐見焼」～

波佐見焼は、有田焼と同様400年の歴史をもつ陶磁器であるが、日常食器が中心ということもあり、有田焼に比べ知名度は低い。

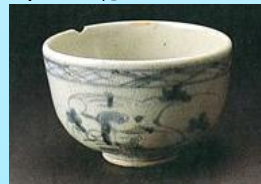
しかしながら、近年、国内外のデザイナーの活用や各種イベントなどの創意・工夫により、ブランド化に成功しつつある。

- 地元窯業関係者が、民間主導でNPO法人を設立し、外部専門家の協力も得ながら、主産業の農業や窯業体験を組み合わせたグリーンクラフトツーリズムを推進(具体例:ピザ焼き、酒塾、ろくろ・絵付け体験、とうのう体験塾等)。
- 講座や各種イベントの随時開催(全国各地での波佐見焼サポート養成講座の開催や各種展示・販売会などイベントへの出展、地元での桜陶祭、鬼木棚田まつりなど)。
- 400年の伝統を支え続けた産地の技術と、デザイナー等の活用によるデザイン性の高い波佐見焼きブランドの強化。



江戸時代の代表的な陶磁器

くらわんか碗(庶民の日常食器)



コンプラ瓶(酒・醤油の輸送容器)



伝統と新しさが巧に調和

(有)マルヒロ「HASAMI」



白山陶器株式会社「すみのわ」



北欧調デザインの波佐見焼も人気

